

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 27 年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 挑戦的萌芽研究 4. 補助事業期間 平成 27 年度～平成 29 年度
5. 課題番号

1	5	K	1	3	0	3	9
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 リアルオプション・アプローチを用いたプロスポーツチームの価値評価手法の開発
7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 2 1 7 4 0 9	テライシ マサヒデ 寺石 雅英	キャリア教育センター	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

本研究の目的は、不確実性や不連続性が著しく大きい事業環境下での価値評価を得意とするリアルオプション・アプローチを用いることによって、現実適用性の高い「プロスポーツチームの価値評価手法」を開発することである。研究プロセスは、大きく3つのフェーズに区分することができ、平成27年度はそのうち第1フェーズにあたる、プロスポーツチームの収益・コスト構造や契約体系を調査・分析することにより、リアルオプションを抽出するフェーズである。具体的には以下のような研究を実施した。

(1) わが国のプロスポーツチームを対象とした聞き取り調査や資料調査により、チームの収益・コスト構造、契約体系、リーグや各種大会の運営システム、制度的制約等に関する詳細な調査を実施した。

(2) 聞き取り調査を補完するため、海外のプロスポーツチームや各国のリーグに関する文献資料を収集し、上記内容に関する調査を実施した。

(3) 上記の調査結果をもとに、チームのキャッシュフローを、選手・スタッフの実力や人気との関連性が強い部分とそうでない部分を切り分け、前者に関しては、選手・スタッフの実力レベルや人気レベルとの間の関数関係を導出した。一方後者に関しては、どのような要素との関連で収入や支出が発生するのかに関する分析を行った。

(4) 選手・スタッフに付随するオプション、チーム全体に関連するオプションをもれなく抽出するとともに、オプション間の相互関連性についても分析した。